

松旭齋天一 略歴

- 1853年（0歳） 福井城下で牧野海平と音羽の第8子（長男）として誕生
（嘉永6） 幼名は牧野八之助。父は福井藩家老・狛家の家臣（藩陪臣）
牧野家は大名町にあった狛家（南狛）屋敷地内に居住
- 1859年（6歳） 叔父を頼り、阿波国（徳島県）に移住（1860年説も）
（安政6） その後、出家
- 1864年（15歳） 寺を追われる。その後、旅芸人の一座で手品を覚える。
（文久4） この間、本名を服部松旭、芸名を松旭齋天一とする。
- 1888年（35歳） 東京・文楽亭でのロングラン興行で全国的な知名度を得る。
（明治21） 江戸時代以来の日本手品と西洋奇術の融合、舞台奇術への昇華を図る。
その後、全国各地での劇場で興行、明治を代表する奇術師に。
- 1891年（38歳） 福井市照手座で初の里帰り興行
（明治24） ※1899年（明治32）福井照手座・武生曙座、1906年
（明治39）福井昇平座、1909年（明治42）福井市加賀屋座、1910年（明治43）福井昇平座・武生武生座・敦賀笹谷座・三国港座で興行
- 1892年（39歳） 明治天皇の天覧。
（明治25）
- 1901年（48歳） 一座を解散し、8人で渡米
（明治34） 欧米諸国で興行、水芸とサムタイで好評を博す（～1905年）
- 1905年（52歳） 東京・歌舞伎座で興行（日本人奇術師では初）
（明治38）
- 1910年（57歳） 弟子の天二・天勝との三枚看板興行（一座の完成形）
（明治43）
- 1911年（58歳） 病気のため引退
（明治44）
- 1912年（59歳） 死去
（明治45）